

観光庁提出資料

平成30年5月28日

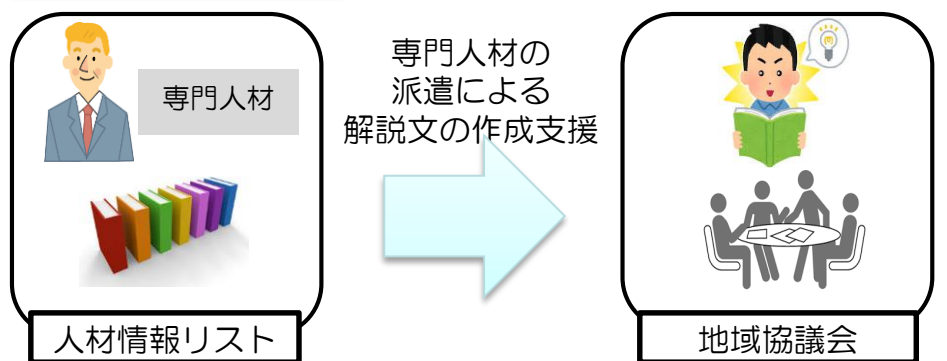
地域観光資源の多言語解説整備支援事業(観光庁分)

・訪日外国人旅行者が地域を訪れた際、観光資源の解説文が乱立していたり、表記が不十分なため、観光地としての魅力が伝わらないとの声があることから、観光庁が関係省庁等と連携して多言語解説の専門人材を初めてリスト化し、派遣体制の構築、解説文作成等の支援を行うことで、旅行者にとって分かりやすく、地域の面的観光ストーリーを伝える魅力的な解説文を整備。
 ・魅力的な多言語解説文が各地で整備されることにより、訪日外国人の観光地での体験満足度を向上させ、高いメリットを提供。

事業概要

1. 国において推進委員会を立ち上げ、解説文作成にかかる指針の取りまとめ、専門人材のリスト化を開始
 2. 地域単位での協議会が行う観光資源の解説作成に対し、協議会からの申請に基づき500万円/件を上限として、支援を実施（看板設置やパンフレット作成などの経費は支援対象外）
 3. 地域での作成実績を報告・フィードバック
 4. 推進委員会において作成過程のノウハウを積み重ねて検証し、取りまとめの上他地域へ横展開
- 〔 本事業で作成した解説文を、文化庁の文化財中核観光拠点200カ所、環境省の国立公園満喫P選定8公園で 実際の案内板・解説板として活用することで、我が国の主要な観光資源の多言語解説の整備を推進。 〕

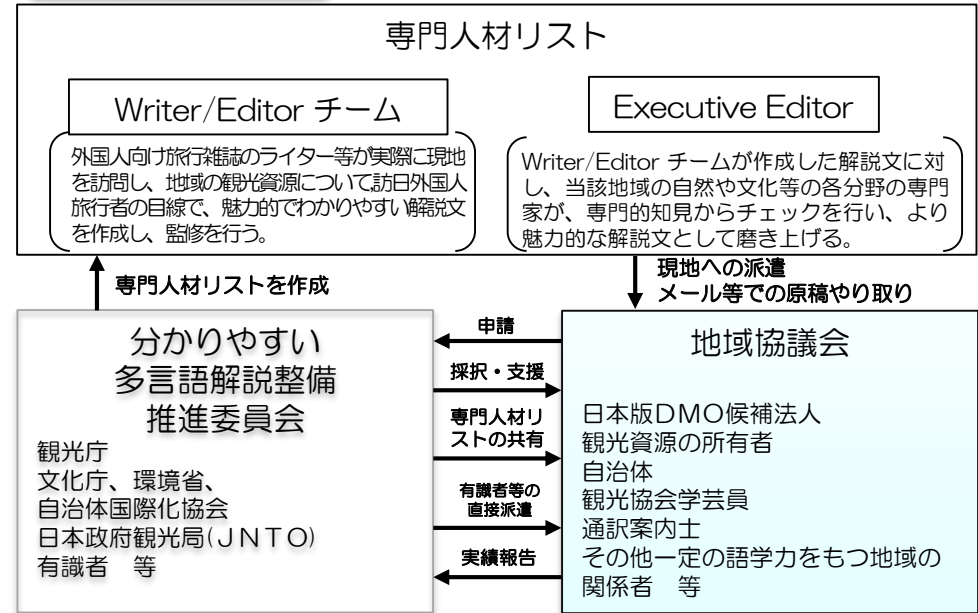
事業体制



・地域において不足している、魅力ある解説文の作成ができる専門人材のリスト化、派遣体制の構築

・魅力ある解説文の作成
 ・様々な観光資源の一元的な解説整備、周遊の促進、国際発信

事業詳細



観光庁
 文化庁、環境省、
 自治体国際化協会
 日本政府観光局(JNTO)
 有識者 等

日本版DMO候補法人
 観光資源の所有者
 自治体
 観光協会学芸員
 通訳案内士
 その他一定の語学力をもつ地域の関係者 等

環境省・文化庁と連携した地域観光資源の多言語解説整備について

観光庁は、①文化庁・環境省と連携して**魅力的な多言語解説文を作成できるネイティブ専門人材をリスト化**するとともに、②**解説文の作成を支援**。

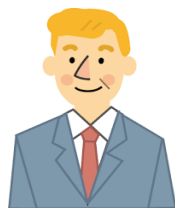
そのうえで、文化庁においては文化財中核観光拠点において、環境省においては国立公園満喫プロジェクト選定公園において、最先端技術も駆使しながら外国人に魅力ある観光ストーリーを多言語発信。

観光庁：地域観光資源の多言語解説整備支援事業

※Writer/Editorを派遣し、文化財の魅力ある多言語解説文の作成支援



※タッチパネル式解説板による案内（日本語音声・多言語字幕）。



専門人材



- ネイティブ専門人材のリスト化
- 解説文の作成費用支援

※Writer/Editorを派遣し、国立公園の魅力ある多言語解説文の作成支援



※国立公園セルフガイドアプリの開発・発信。

文化庁：文化財中核観光拠点200カ所

- 地域の文化財を一体的に整備・支援
- 観光資源としての価値を高める美装化への支援
- 文化財の魅力伝える案内板・解説板の設置



環境省：国立公園満喫プロジェクト8公園

- 自然や温泉を活かした野外アクティビティの充実
- ビジターセンター等におけるカフェや案内板・解説板の設置
- 質の高い魅力的な宿泊施設の誘致



総論

訪日外国人旅行消費額の増加と地方への誘客促進のためには、体験型コンテンツ市場の育成が極めて重要。



- 地域固有の「場・資源」と、宿泊、飲食等の「機能・コンテンツ」を掛け合わせ、提供するサービスの単価向上の工夫が必要。
- 流通、広告の手法として、訪日外国人旅行者向けに情報提供、決済システムの見直しが急務。
- 人材の確保・育成と安定した雇用、経営基盤の確立のため、観光産業全体の人材育成のレベルアップと、体験型コンテンツ市場育成のためのガイド人材の拡充が必要。



訪日外国人旅行消費額8兆円の目標達成に向け、世界での最高水準(オーストラリア、アメリカ)を目指す



各論

地域の観光資源を活用した体験型コンテンツの定番化

地域固有の自然の活用

外国語対応可能なアウトドアガイド育成・活用の検討



日本の生活・文化体験

日本文化に関するイベント情報等のオープンデータ化



お祭りの外国人への開放

外国人参加枠を設ける祭りの希望聴取・誘客プロモーションの実施



新たな体験型コンテンツの掘り起し

ナイトタイムエコノミー

2次交通、安心安全の確保等を検討する官民の協議会の設置



ビーチの活用

通年利用に向けたニーズ・課題調査、協議会の設置



体験型観光の充実を支える取組

チケット購入の容易化

観光案内所でのチケット販売の促進、モバイル対応化



VR・AR

訪日前・中のVRを活用したプロモーション

